

令和元年度 わかあゆ認定こども園自己評価結果

1. 教育・保育の目標

園児一人一人に応じた教育・保育を一体的に行い、心身ともに健康で明るく、たくましい子を育てる。

■ 目指す子どもの姿

- げんきにあそぶ子
- あいさつのできる子
- おもいやりのある子
- じぶんのことはじぶんでできる子

2. 重点的に取り組む目標・計画

- 危機管理を徹底し、子どもたちが安心、安全に過ごせる環境づくりに努める。
- 教育、保育の質の向上に向けた職員間の話し合い・情報共有の機会を充実させていく。
- 保護者と情報交換を図り、子どもの育ちを共有する。
- 子ども同士や保育教諭等との遊びを通じて総合的な指導を行う。
- 子どもたち一人一人の特性や発達の過程に応じた指導を行う。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組状況
認定こども園教育・保育要領に基づき、園児の実態に即した指導計画が作成されている。	A	園児の発達の様子が毎年違うが、その特徴を捉え、指導計画を基に日々の教育・保育の中で育ててほしい姿を職員で研修しながら作成した。
指導計画により、計画的に教育・保育が行われている。	A	園内研修の研究テーマ「連続性を踏まえた教育・保育」を念頭に置き職員間で連携しながら実践した。
教育・保育に適切な環境が構成されている。	A	園児の興味関心に沿った環境構成しながら保育教諭の意図する活動の場が提供できた。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導が行われている。	B	園児の家庭環境の把握や発達の特性を理解し、保護者への支援をしながら園児個別に応じた援助をこころがけた。
職員の資質向上に係る取組について	A	園内研修を全員が主になり行うことで自分の教育・保育の欠点を見つけ資質向上に繋げている。また、他の職員の教育・保育を観ることでよい刺激になっている。
幼小連携に係る取組について	A	こ小連携会議への参加、園学校相互の訪問などを通して小学校や関係機関と連携をとり円滑な継続を図った。
安全管理の取組について	A	月1回の交通安全教室、避難訓練。総合避難訓練の年2回実施。各マニュアルの共有。教育調査研究委員会(県)の研修に参加した職員から他の職員への周知。

子育て支援事業について	B	年3回の保育参観、年2回の個別懇談、保護者対象に講演会を年に数回実施。支援センターと事業を共有して行う。
情報の公開・発信について	A	毎月の園だより、保健だより、ホームページの活用。一斉メールでの周知。

※評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
職員の資質向上	保育者としての自覚を持ち、園内研修を行ったり外部研修に参加したりして一人一人が自分の保育を改善していく。
職員間の連携	細かく打ち合わせをして園児の姿を共通理解し誰が対応しても統一した関りができるようにする。
運動能力の向上	姿勢の維持、意欲がある園児を育てる教育・保育が行っていく。3年目になる「運動プログラム」の活用。
情報の発信	ホームページでの各クラスの活動配信。一斉メールの今まで以上に活用。

令和2年3月31日

評価者

那珂川町立わかあゆ認定こども園

園長 大森 尚美